

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話 ☎ 2111 内線240



金木幼稚園雪上運動会  
爆笑・爆笑！みんながこけた！

主な内容

	P	P	
中国羅店鎮と農業等交流を提携……………	2	学校部活動紹介……………	7
「明日を拓く農業婦人事業作文コンクール」 藤瀬小4年の 棟方陽子さんが優良賞を受賞……………	3	校内スキー大会が続々……………	8
フツ／とくりだすよいどれ根性……………	4	今月の顔……………	9
金木町スポーツ賞授与式……………	5	お知らせ……………	11
国体二連覇の偉業 田校が古川純一君をたたえる……………	6	金木病院カルテ }……………	12
		戸籍の窓 }	

人口と世帯

	2月末現在	前年同月比
男	6,442人	-87人
女	7,021人	-76人
計	13,463人	-163人
世帯数	3,904	

# 中国羅店鎮と 農業等交流を提携

中国上海宝山区「羅店鎮」からの招聘に応え、訪中した町長、議長、委員長（海外交流特別委）、議員等総勢十名が去る二月二十六日一週間の日程を終え帰町しました。

一年程前から友好交流を

望んでいた羅店鎮は、人口一千二百万人の大都市上海から、北方四〇kmにあり土地は平坦、肥沃で、七百年の歴史を持つ古い農村です。人口二万七千人、戸数八千二百戸、耕地面積が一千三百八十三haで農家は七五%

を占めるが、現在は工業、副業、商業にも力を入れている。

農業は機械化され、大きい農家では四・五ha、小農家でも一・二haを「專業請負」方式で経営し、農地は殆ど区画整備が進んでいた。二毛作で水稲・小麦等生産性が高い。副業は豚、牛、鶏、鮮魚の生産のほかキノコも栽培され、果樹はオレンジがおいしい。

工業については、鎮、村の経営及び大手企業との共同経営を含め、化学製品、紡績製品、金属類等、八十六の企業が操業している。全鎮には小学校六校、中学校三校があり、学令に達すると日本と同じように全員入学する。教育に熱心な所だけに金木小学校と同程度規模の小学校で、アナライザーによる英語等高度な勉強をしていた。

以上が概況である。さて、訪中一行は二月二十日上海空港に、宝山副区長、羅店鎮長一行の出迎えを受け、宿泊パーティーでも熱烈歓迎されました。翌二十一日は沢山の横断幕や小学生のプラスチック吹奏による歓迎の中、役場、小学校、工場等を見学。羅店鎮役場において、和やかな両町の懇談後盛會裡に調

印式が挙行され、今後は青年達の交流、両国の農業の勉強などに双方尽力することが議定された。

○差しあげます○  
今回一団員が中国から、余分に水虫用漢方薬を買ってきたので、おあげするそうです。水虫で苦しんでいる方はどうぞ企画室まで。



▲羅店鎮役場前で鎮長(右から5人目)一行と

▼整然としている農地と農家の家並み



## 中国(中華人民共和国)への 農業研修生募集

### 中国(中華人民共和国)への 農業研修生募集

両町友好促進のため、次のおり研修生の派遣、受入れについて希望者を募ります。三月末日までに企画室に申し込んでください。

(公五三一二一一  
内線二三九)

一、羅店鎮への派遣研修生について

人員 三名(なるべく青年。男女の別なし)

期間 五月上旬頃から三ヶ月程度の子定

内容 農業研修

搾菜の作付・味付。  
特殊農作物の作付。  
辣醬の醸造等。

経費 費用全額当町負担

予定

二、羅店鎮からの研修生受入れについて

人員 羅店鎮の青年三名

期間 五月上旬頃から三ヶ月程度。研修生受入希望の方御連絡

下さい。

内容 農業・工業・商業

・技能見習(パーマ、工芸、学芸等)

# 「明日を拓く農村婦人 育成事業作文コンクール」

## 嘉瀬小4年の棟方陽子さんが優良賞を受賞

県が主催した「明日を拓く農村婦人育成事業作文コンクール」で嘉瀬小学校4年の棟方陽子さんが見事優良賞を受賞しました。棟方さんは日頃の母親の



受賞した  
棟方陽子さん

農業に対する姿勢やその苦労を作文にしたもので、母親に感化され自己の農業に対する大切さ、農業をやってみようとする意識変化が評価されたようです。

### 『田んぼで働く母』

嘉瀬小学校四年一組  
棟方 陽子

すすきのトンネルのなかで、じっとしていると、真っ赤な夕やけがやさしく、田んぼをつつんでいるような実りの秋になりました。

母は今、田んぼで仕事をしています。私は小さい時から、いつも母をむかえに田んぼにいきます。「お母さん、むかえに来たよ。」

「あ、陽子、もうちょっとで、終わるから、まって。」

と、母は言いながら、せつせと葉をまいたあとの後かたづけをしていました。「手伝うが。」

と、母のところを走っていくと、「せつかぐだから、やってもらうが。ひえば、まどめで。」

と、にこっと笑って、言いました。わたしは、母が働いているすがたをずっと見てきました。

春になると、手がつかれるので、夜おそくまでマッサージしているのでした。わたしは、「つかれるんだら、やめだ

ら。」  
と、聞いたなら  
「陽子、そういうごとき聞かなくて、お母さんは、手いやくねよ、働くの好きなんだから。」

「働ぐのが好きだんだら、どっかさつとめだら。」  
「ちがうちがう、働くって言うのは、陽子が四年生になったから、おしえるけど汗水流し、どろんこになって、一生けんめい育てて、秋にりっぱになった稲を見るのがなんとも言えねんだね。陽子達と同じく、子供に見えることもあるよ。お母さん農業大好きだんだ、ほこりさ思ってるよ。陽子も田の仕事好きだべさ。」

この話を聞いて、わたしは、やっとお母さんの気持ちかわかりました。  
母に言われて思い出してみると、田んぼに水を入れるとき、手を入れたら、ぬるっとして冷たくとも気持ちが悪かったのに、水入れを手伝っているうちに、

「陽子、手伝ってくれるから、たすかるな。」

と、言われたり、（自分から、今日の水温は昨日とくらべて、どうだろう。）とも思うようになってきました。そして、天気の良い日は、家族そろってお弁当を持って田んぼに出かけました。もちろん愛犬チヨモも一しよで、それはそれは、楽しい一日になります。

もちろん、おべん当だけをまわっているのではなく、家族全員で田んぼの仕事をするので。そんな時、母は、

「むりすれば、まねよ。やれることだけでいいはんで、せつたいむりすればだめだよ。」  
と、わたしたち兄妹に何度も、言います。

農業をやめる人がいることを聞くと、「どうして、やめるんだべ。もつたないと思うな、お母さんだば。」  
と、しんみりとなつてしまっています。

そのすがたは、本当に悲しそうでした。自分のことではないのに、こんなにショックをうける母なのです。母は、農業が好きなので

す。大好きなのです。田んぼで、こしをまげ、草とりをしている母、夏の暑い日汗をたくさんかきまらでシヤワーでもあびたようすがたでかえる母、豊作で、うれしくてたまらないようすの母、私は、いつしか田んぼの仕事をとくさん、おぼえてしまいました。母が、おしえてくれたのです。母の口ぐせに

「物を大切に、生きている物には思いやりをもって大切にしよう。」  
と、言っていた言葉の中に、母の農業に対するおもしろい、知らず、知らずの間に私に伝わってきたようです。こういう母を、私は大好きです。

私も大きくなったら母のように、農業をずっと続けたいと、思っています。これからも、田のことを少しずつでもなにかんけないことのようなことでも、おぼえたいと思えます。

母のおぼえてるより、だれより田んぼにくわしくなりたいと、きぼうをもちました。

# ワッ！と、くりだすよいどれ根性

## 「第一回よいどれ天国めぐり」大成功

飲食店街の活性化はもとより、ひいては町の発展向上にも寄与しようと金木町料飲喫茶業組合（田中豊蔵組合長）が主催する「第一回よいどれ天国めぐり」が二月三日、町内外から五百人あまりが参加して町内の飲食店を飲んで飲んで歩き歩いた。

この催しのルールはいたって簡単。二時間の間に主催者側の三十五軒の飲食店の内から、指定された五軒

で日本酒お銚子一本・ウィスキー一杯・ビール一本・ジュース一杯の中から好きなものを一つだけ完全に飲み干してからスタンプを押してもらって歩くもので、終了後には豪華な賞品を取り揃えた抽選会が行われるもの。

参加者は、午後六時半の花火の合図とともに集合場所となっている商工会館から、仲間と一緒に歩く人、走っていく人、タクシーに



▲いつとはなしに知り合いに

乗る人と様々に飛び出していった。初めは見知らぬ同士もいつしか意気投合して何回も乾杯をするなどなごやかな雰囲気のもと、さすがに五軒もはしごをするに酔いもまわり、途中でカラオケを歌ったり、そのままいついてしまった人もいたようだが、五軒くらいにするとそのぞと、十一軒もまわったという若者グループは何か特別賞でもないのかとはしゃいでいた。



◀元気に大きな声 全員でハイイ（喜小）



◀今日の勉強は おえかき（嘉小）

# 来月は新一年生

## 一足早く気分は小学生

▶おにいさんおねえさんと いっしょにおうた（川小）



▶あたらしいお友だちは だくれだ（金木）



来月に控えた小学校の入学式を前に、各学区の子供達が一日入学を体験しました。

父兄達に連れられて小学校にきた子供達は早速各クラスに入り、最初は緊張のためかおとなしかったが、時間が経つにつれて知らない同士もすぐに遊びはじめするなど大人とは違い環境に素早く順応していた。

その後模擬授業が始まると、みんな先生の指示にしたがい名前を呼ばれると大きな声で元気に「ハイイ」と返事をしたり、歌や絵を描いたり親の心配をよそに子供同士仲よく過ごしていた。

その間親達は別室において入学に際しての準備や小学校生活の注意点などに耳を傾けていたが教室にいる子供が気にかかるのかそれぞれわいていた親もみうけられた。

\*新入学児童数

- 川倉小学校 二十一名
  - 喜良市小学校 二十四名
  - 嘉瀬小学校 五十名
  - 金木小学校 八十一名
- （平成二年三月九日現在）

平成元年度の金木町スポーツ賞授与式が二月二十八日役場会議室で行われ受賞者全員に近藤教育長から賞状とメダルが手渡された。

スポーツ賞は、「本町におけるスポーツ活動においてその技術水準ならびに普及水準の向上につとめ、町民の健康福祉に貢献し本町スポーツ振興に多大の功労功績のあった個人、団体」に贈られるもので今年度は個人十九名に授与された。

授与式では近藤教育長が「皆さんは日頃から苦しい練習を強い気力と体力で今日を築いてきました。スポーツの覇者はそのまよき

# この榮譽を誇りに 平成元年度 「金木町スポーツ賞」 授与式

人間でなければならぬ。これからも心・技・体をきわめて成長していくことを願います」と挨拶。

続いて来賓として出席した大橋町長が「皆さんは母校の名誉をたかめ、ひいては金木町の名誉をたかめました。これからも一生懸命スポーツに励み、勉強もおざりにせず将来立派な人間になってください」と祝福し、濱田教育委員長も「目的と目標をもち真剣にそして根性と人の和を育て、心豊かな人間になってもらいたい。」とお祝いの言葉をのべた。

受賞者は下記の通り。



## ▼各受賞者および受賞内容

氏名	学校・学年	種目	受賞内容
敦賀 桜	金木中学校(2年)	陸上	第40回青森県中学校夏期大会陸上競技大会 三種競技B 2位 第35回全日本中学校通信陸上競技大会青森県大会 三種競技B 2位 (東北大会出場)
小野 瑞穂	金木中学校(2年)	陸上	第35回全日本中学校通信陸上競技大会青森県大会 400mリレー 2位 第4走者 (東北大会出場)
津島 朝実	金木中学校(2年)	陸上	第35回全日本中学校通信陸上競技大会青森県大会 400mリレー 2位 第1走者 (東北大会出場)
工藤 桃子	金木中学校(1年)	陸上	第35回全日本中学校通信陸上競技大会青森県大会 400mリレー 2位 第2走者 (東北大会出場)
竹内 真美子	金木中学校(1年)	陸上	第35回全日本中学校通信陸上競技大会青森県大会 400mリレー 2位 第3走者 (東北大会出場)
相内 崇	金木中学校(1年)	相撲	第10回東北中学校相撲大会 団体 準優勝
葛田 七三郎	金木中学校(2年)	相撲	第10回東北中学校相撲大会 団体 準優勝
西 西学	金木中学校(3年)	相撲	第10回東北中学校相撲大会 団体 準優勝
鳴海 英樹	金木南中学校(3年)	軟式庭球	第20回青森県中学校軟式庭球選手権大会 団体 3位 個人 2位
鳴海 孝光	金木南中学校(3年)	軟式庭球	第20回青森県中学校軟式庭球選手権大会 団体 3位 個人 2位
吉崎 正貴	金木南中学校(2年)	スキー	第40回青森県中学校スキー大会 スペシャルジャンプ 準優勝 第26回東北中学校スキー大会 スペシャルジャンプ 6位
荒関 一寿	金木南中学校(3年)	スキー	第40回青森県中学校スキー大会 コンパインド(複合)優勝 第26回東北中学校スキー大会 コンパインド(複合) 9位
今 竜騎	金木南中学校(3年)	スキー	第40回青森県中学校スキー大会 ジャイアントスラローム 優勝 (東北大会出場)
須崎 篤志	五所川原工業高校(2年)	ウェイトリフティング	第26回ウェイトリフティング選手権春季大会 1位 第42回青森県高等学校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 1位
小野 拓史	五所川原工業高校(3年)	ウェイトリフティング	第26回ウェイトリフティング選手権春季大会 1位 第42回青森県高等学校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 1位 第44回国民体育大会青森県予選会 1位
鳴海 瑞穂	五所川原工業高校(2年)	少林寺拳法	第42回青森県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技 団体 優勝
沢田 貴嗣	五所川原工業高校(2年)	少林寺拳法	第42回青森県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技 団体 優勝
白川 恵	五所川原商業高校(2年)	ソフトボール	平成元年度青森県高等学校春季ソフトボール選手権大会 優勝 第42回青森県高等学校総合体育大会 ソフトボール競技 優勝
木下 英利子	五所川原商業高校(2年)	ソフトボール	平成元年度青森県高等学校春季ソフトボール選手権大会 優勝 第42回青森県高等学校総合体育大会 ソフトボール競技 優勝

あなたの善意

- ▼(株)野呂電気商会より金木小学校へステレオ一式が寄贈されました。大切に使用させていただきます。次の方々より「社会福祉事業に役立ててください」と町社会福祉協議会にご寄付がありました。趣旨にそって有効に使わせていただきます。
- ▼小原流山本和子社中忘年会オークションバザーの益金一万円
- ▼金木町職員組合 団結忘年会の寄付金三万二千八百二十六円
- ▼鶴田町早瀬の坪田久美子さん 拾得金二千四百四十五円
- ▼川倉林下白川純一君(川倉小五年) 拾得金一千八百五十円
- ▼平成二年金木町合同厄払い参加者の皆さん 合同厄払い参加費の一部二万七百五十八円
- ▼花柳穂紀桜社中 チャリティーショウの益金五万円

ありがとうございます

# 国体二連覇の偉業 母校が古川純一君をたたえる

大鰐町で開催された第四十五回国民体育大会冬季スキー大会において、スキー複合競技少年組二連覇をかざった古川純一君を迎え、出身校である金木南中学校生徒会が二月二十六日「古川純一先輩をたたえる会」を開きました。

古川純一君は、地元喜良市川端町の出身で昭和六十二年三月金木南中学校を卒業、現在東奥義塾高校に在学中、四月からは近畿大学に入学する将来を嘱望されている逸材の一人。

この日、会場となった同校体育館に制服姿であらわ



れた古川君に対し、全校生徒から盛大な拍手があり、平川校長から「古川君は、中学校時代から常に平常心を保てる人で、おごらず、スポーツマンシップにあふれている人であります」と紹介されてステージにあがった古川君は「このような時間をいただいております。これからも今以上にがんばり、オリンピックを狙いたいと思います」と後輩達に語っていました。

その後生徒会役員によるインタビューがあり、次のようにこたえていました。



▲母校南中校長室で

生徒―スキーを始めた動機は何ですか。  
古川―自分には何か一つがほしいというものがあつたので結果的にスキーを選びました。  
生徒―平日は何時間ぐらい練習していますか。  
古川―午前中二時間、午後二時間の四時間です。

生徒―勉強との兼ね合いはどうしていますか。  
古川―合宿や遠征があるのでその合間に補習授業などを受けています。  
生徒―練習がつかつたりくじけそうになつたりしたことがありますか。  
古川―あります。  
生徒―そういう時はどうし

ていますか。  
古川―全部を忘れて新たな気持ちでがんばるようにしています。  
生徒―今までどこまで行きましたか。一番の思い出の場所はどこですか。  
古川―北海道から長野県まで行きました。長野県の野沢温泉スキー場が一番印象に残っています。それは夏場に七十m級のジャンプの練習が出来たことで、こわかつたことです。

生徒―今回の大会においてプレッシャーはありましたか。  
古川―郷土の期待、学校の期待などプレッシャーはありました。  
生徒―これからもがんばってください。

## 生涯スポーツ推進事業

平成元年十月九日より始まった少年ゲートボール教室は、一月十四日まで喜良市小学校体育館を会場に行われました。

この教室は小中高校生を対象に家族で楽しめるゲートボールに親しみ、スポー

ツを通してみんなのつながりを育て、地域社会の連帯を確くことを目的として、喜良市ゲートボール協会が主体となって開催されたものです。

参加者は小学校二年から六年までの三十五名で、体

## 少年ゲートボール教室

育館にセットされたゲートの通過方法や打ち方、相手のボールを攻撃するスパイクのやり方など頭を悩ましなげも熱心に練習し、「第一ゲート通過!!」の声に「やったー!!」と思わず声があびだすなど、ゲートボール

の魅力にとりつかれた様子でした。

また教室の最終日には参加者によるゲートボール大会があり、実行委員チーム対少年チームで決勝戦が行われ、二〇対一七と辛うじて実行委員チームの勝利に

おりましたが、大人顔まけの好プレー、珍プレーの続出でなごやかな雰囲気のうちを終了しました。

指導にあつた喜良市ゲートボール協会のメンバーは毎年この教室を続けていきたいと話していました。

(社教主事 大橋聖彦)



どうしても家にとじこ  
りがちな冬、その冬に外  
に出ておおいに身体を鍛えよ  
うと川倉小学校、嘉瀬小学  
校が二月二十二日、喜良市  
小学校が二十三日に校内ス  
キー大会を開きました。

今年はず年にも増して雪  
が少なく、大寒のときに降  
った雪があるだけ。それに  
追いつちをかけるように連  
日の雨にも見舞われて、ス  
キー場も半分近くに地膚が  
見え最悪という表現がピツ  
タリという状態。

しかし、子供達の思い入  
れを感じとった父兄と先生  
達が前の晩や早朝に雪を運  
び入れたり、コースを変更  
するなど苦心さんたんの末  
にやっと開催にこぎつけた  
もの、お昼近くになると  
嘉瀬スキー場などはコース  
上部や駐車場部分がまるで  
泥田のようになり、選手達  
にはかわいそうな大会にな  
った。

それでも大会の両日とも  
天候に恵まれ、児童達はこ  
の日のために練習してきた  
とあって自分の持てる力を  
精一杯出しきりゴール後  
はさわやかな笑顔が広がっ

ていた。

※各学校の種目別一位は次  
の通り。

川倉小学校

◎距離

- 一年男子 白川 雅海
- 二年男子 浅利 潤
- 女子 泉谷 直子
- 三年男子 中谷 宗徳
- 女子 其田 仁美
- 四年男子 小山内 豪
- 女子 浅利真喜子
- 五年男子 白川 博順
- 女子 三濁 樹理
- 六年男子 中谷 幸治
- 女子 成田美由紀

◎旗回り

(レーススキーによる回転)

- 一年男子 工藤 慎悟
- 女子 泉谷 侑
- 二年男子 浅利 潤
- 女子 白川 真美
- 三年男子 中谷 宗徳
- 女子 原田 綾子
- 四年男子 泉谷 圭吾
- 女子 浅利 恵子
- 五年男子 三濁 洋生
- 女子 三濁 樹理
- 六年男子 泉谷 友孝
- 女子 成田美由紀

嘉瀬小学校

◎滑降(アルペンスキー)

- 三年男子 小松 大也

熱気で雪がとけた？  
校内スキー大会続々



◎回転

- 五年男子 伊藤 和也
- 女子 澤田 由香
- 六年男子 鳴海 功司
- 女子 原田 三鈴
- 三年男子 斉藤 健太
- 女子 山中 由嘉
- 四年男子 松川 兼吾
- 女子 鳴海 寿美
- 五年男子 伊藤 春樹
- 女子 今 ひとみ
- 六年男子 松川 啓一
- 女子 秋元 智子

◎レース

- 一年男子 鳴海 翔
- 女子 木村 陽子
- 二年男子 原田 晃
- 女子 澤田ゆかり
- 三年男子 斉藤 学
- 女子 今 泉
- 四年男子 山中 潤哉
- 女子 鳴海 友子
- 五年男子 鳴海 英雄
- 女子 澤田 由香
- 六年男子 岩村 寿孝
- 女子 岩村 茜

◎ジャンプ

- 二年男子 榎方 公一
- 三年男子 斉藤 健太
- 女子 松川 聡佳
- 四年男子 吉崎久実子
- 五年男子 原田 雅仁
- 五年男子 泉谷 道哉

六年男子 内海 隆幸

喜良市小学校

◎レース

- 一年男子 今 貴洋
- 女子 三上 里奈
- 二年男子 大橋 高太
- 女子 今 佳子
- 三年男子 古川 隆教
- 女子 柏谷 成子
- 四年男子 大橋 早男
- 女子 大橋 ひかる
- 五年男子 芦田 嗣大
- 女子 西村 郁代
- 六年男子 今 哲也
- 女子 桑田 梢

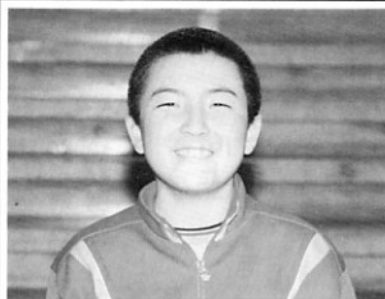
◎回転

- 一年女子 高橋 千紘
- 二年男子 大橋 高太
- 女子 今 詩子
- 三年男子 今 正秀
- 女子 今 千幸
- 四年男子 宮崎 浩司
- 女子 宮崎 愛
- 五年男子 古川 寿人
- 女子 鎌田 三美
- 六年男子 柳谷 広貴
- 女子 今 諭子
- 三年男子 大橋 史明
- 四年男子 古川 卓寛
- 五年男子 宮崎 浩司
- 六年男子 奈良 岳薫
- 五年男子 今 哲也



# 今月の顔

第3回西北五  
学童スキー選手権大会  
男子5年距離1位



白川博順 (川倉)

第12回あすなろ記念  
県北五小学校スキー大会  
4年ジャンプ1位



松川兼吾 (嘉瀬)

第3回西北五  
学童スキー選手権大会  
6年女子距離1位



成田美由紀 (川倉)

第12回あすなろ記念  
県北五小学校スキー大会  
4年回転女子1位



岡田紋佳 (川倉)

第3回西北五  
学童スキー選手権大会  
6年回転女子1位



秋元智子 (嘉瀬)

第12回あすなろ記念  
県北五小学校スキー大会  
5年男子距離1位



三渦洋生 (川倉)

第3回西北五  
学童スキー選手権大会  
4年ジャンプ1位



原田雅仁 (嘉瀬)

第12回あすなろ記念  
県北五小学校スキー大会  
6年女子距離1位



中谷仁美 (川倉)

第3回西北五  
学童スキー選手権大会  
5年ジャンプ1位



伊藤春樹 (嘉瀬)

第12回あすなろ記念  
県北五小学校スキー大会  
5年女子距離1位



三渦樹理 (川倉)

第3回西北五  
学童スキー選手権大会  
4年男子距離1位



小山内豪 (川倉)





お  
知  
ら  
せ

国税だより

世界の国々の中には、法人税が全くないとか、法人税の税率が著しく低いなどといった国や地域があります。

これらの国や地域を軽課税国とかタックスヘイブン（租税回避地）などと呼んでいます。

企業の中には、これらの国に実体のない子会社を作り、第三者との取引引きにおいてそこを介在させることによって、その子会社に利益を留保し、企業グループ全体としての租税回避を図る例がみられます。

我が国では、こうした租税回避行為を防止するため、昭和53年からタックスヘイブン税制が導入されています。

暮らしと電気安全

◎引越したら確かめて

（「東と西」の電気の違い）  
3月25日は「電気記念日」です。日本で始めて電気が東京の電信中央局開業式に灯りました。今から110年前の明治11年のこの日です。

イギリス人エアートン教授の指導のもとに、50個のアーク灯が一斉に点灯され、この日を記念して昭和3年に電気記念日が制定されました。

ところで、私達の家庭に送られてくる交流の電気は、日本列島中部静岡県の富士川と新潟県の糸魚川あたりを結ぶ線を境に、東日本は50Hz（ヘルツ）、西日本は60Hz（ヘルツ）に分かれています。このため周波数（ヘルツ）の違う地域へ引越した時は、電気製品のうちいくつかはそのままで使えないものがあります。電気店などにお問い合わせください。

船員遺族の  
皆さんへ

職務上で死亡された商船の殉職船員遺児へ援護金が支給されます。

出生から高等学校を通常の期間により卒業するまでの期間。

1人1ヵ月6,000円

別に、入学記念品として小学校に入学したとき30,000円、中学校高等学校に入学したとき、それぞれ10,000円贈呈。

申請・照会は、  
（財）日本殉職船員顕彰会  
東京都千代田区麹町4-5  
海事センタービル内  
TEL 03-234-0662

県地域振興課から

近年、市街地等において地価高騰が見受けられる等、土地問題が大きくクローズアップされています。

国土庁は、これらに対する土地対策の重要性等について、国民の関心を高め、その理解を深めるため、4月を「土地月間」として、各種広報・啓発活動を行うことにしており、県でも積極的に協力することにしています。

この行事の一環として、専門家による地価評価などに関する無料相談会が次により開催されます。日頃気になっている土地の評価や売買等について相談したい方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

▼無料相談会

1. 実施日時・場所

4月6日（金）

青森会場…午前10時～12時

午後1時～3時

青森市役所第三庁舎1階大会議室

弘前会場…午後1時～4時

弘前市役所新館6階第1会議室

八戸会場…午後1時～4時

八戸市庁旧館3階講堂

2. 相談員

不動産鑑定士

3. 実施主体

（社）日本不動産鑑定協会青森部会

4. 後援

国土庁、青森県、青森市、弘前市、八戸市

▼地価公示・地価調査による地価の公表

国・県では、各地域で標準的な使われ方をする土地を選んで、その適正な土地価格を公表して土地売買をする際などの目安としていたでています。

調査名	地価公示	地価調査
調査機関	国土庁	青森県
対象市町村	8市9町村	全市町村
価格の公表	3月23日	9月20日
価格時点	1月1日	7月1日

詳しい内容は、県地域振興課または役場企画室までご覧になれますのでお訪ねください。

法務局から

登記所にある会社の登記簿及び各種法人の登記簿の閲覧は、平成2年4月1日から有料となります。閲覧料金は300円です。

従来から有料であった登記簿の謄本・抄本の料金が次のように改正になります。

登記簿の閲覧 200円→300円  
謄本・抄本 400円→500円  
なお、詳しいことは、登記所の窓口でお尋ねください。

国民年金

国民年金の保険料を完納しましょう。

国民年金の第1号被保険者のみなさん、国民年金の保険料を毎月忘れずに納めていますか。年度末が近づきました。未納になっている保険料がないか、今一度お確かめください。

平成元年4月分から今年の3月分までの保険料は、町役場が発行した納付書で、今年の4月27日までに納めることになっています。もし、納め忘れの保険料があれば、今すぐ納めてください。

納め忘れの保険料があると万一の事故のときや、年をとってからの年金が受けられなくなることもありますので、将来、悔いを残さないためにも、毎月キチンと納めていきましょう。

裁判所から

◎知っておきたい少年審判の話◎

14歳以上20歳未満の少年が非行を犯すと、その事件は、家庭裁判所で審理することになります。家庭裁判所では、少年の特質に十分配慮した取扱いが行われています。

まず、家庭裁判所に事件が送られてくると、家庭裁判所調査官による調査が行われます。家庭裁判所調査官は、少年非行の調査の専門家であり、心理学、社会学、教育学などの専門的知識を基に、少年の性格や家庭環境などを調査し、必要な場合には、少年や保護者に対する指導なども行います。

調査の結果は、報告書にまとめられ、裁判官に提出されます。その報告書を参考に、一過性の非行など特に処分を必要としない事件を除いて、裁判官による審判が開かれます。

審判は、少年の情操を配慮して非公開とされ、懇切を旨として行われます。しかし、少年が非行を犯したことを否認している場合などには、その事実の有無を認定するための証拠調べも行われます。

こうした審判を経て、その少年が再び非行を犯さないために必要な処遇が決められるのです。

## 金木病院カルテ⑤②

# 『アニサキス症について』

信 谷 山 公 立 金 木 病 院 外 科 医 生

突然の腹痛を主な症状とし、緊急処置としてしばしば開腹手術を必要とする疾患を総じて急性腹症と言います。急性虫垂炎、急性胆嚢炎、急性脾炎、消化管潰瘍やその穿孔などがこれに含まれます。そしてアニサキス症もまた急性腹症を起こす疾患として知られています。

アニサキス症とは線虫類と言われる寄生虫の一種アニサキスの幼虫によって生じる消化管障害のことです。アニサキスの成虫はイルカ類の胃に寄生する寄生虫ですが、成虫より産卵された

虫卵は糞便と共に海中に放出され、小さな海中生物に摂食されたのち、食物連鎖に從って小さな魚貝類から大きな魚貝類に次々と寄生して行きます。そして最終的に成虫となりイルカ類の胃に寄生するわけです。

幼虫は魚貝類の筋肉内などに寄生しますが、人間への感染は、このアニサキスの幼虫が寄生する魚貝類(ニシン、タラ、イカなど)の肉を生食することで生じます。人間に摂食されたアニサキス幼虫は、その胃や腸の壁にもぐり込みます。

アニサキス症の症状は、緩和型と言われる全く症状のないものから、激しい胃部痛、腹痛、悪心、嘔吐といった症状をもつ激症型まで様々です。内視鏡の技術や普及が今程ではなかった以前には、潰瘍やその穿孔と診断され、緊急手術にて胃や腸の一部を切除されることが多かった様ですが、現在では内視鏡にてその虫体を発見し除去することで治療がなされています。

今年の元旦から数日の間に激しい腹痛を訴え、当金

木病院を受診し、後日内科にて内視鏡術でこのアニサキスの幼虫を発見、除去された患者さんが何人か居ました。この患者さん達に共通していたのは、発症の数時間から十数時間前にタラの刺身を食べていたことです。

正月料理としては欠くことのできない(らしい)タラの刺身ですが、今回の発症の原因ではなかったかと考えています。

アニサキスの幼虫は熱に弱く、70℃以上では瞬時に死滅し、またマイナス20℃以下では数分で死滅してしましますが、刺身や寿司など生魚を食べる日本人においては、アニサキス症は軽んじることのできないものであることを痛感しました。



## はじめてまして



ひさみ 寿海ちゃん

1月21日生まれ  
体重 3,380g  
喜良市野崎  
田村譲一さんの長男



みずほ 瑞穂ちゃん

1月21日生まれ  
体重 3,000g  
嘉瀬下新町  
須崎 睦さんの2女

## 戸籍の窓

二月分届出

おめでとう

田村 寿海(譲一) 喜良市  
須崎 瑞穂(睦) 嘉瀬  
秋元 静華(茂樹) 金木

鳴海 光矢(新一) 嘉瀬  
平川 元氣(進) 嘉瀬  
秋谷 亮太(満) 金木  
逢坂 圭祐(由廣) 金木  
鳴海 麻衣(嘉昭) 金木  
今 厚喜(龍二) 喜良市  
伊藤 尚仁(淳一) 嘉瀬  
丹場 美里(利幸) 金木  
伊丸岡咲乃(豊) 喜良市

おしあわせに

岩村 隆繁(義) 嘉瀬  
吉田裕里子(與志雄) 中里町

## おくやみ

澤田 長俊(73才) 嘉瀬  
泉谷松三郎(86才) 川倉  
山中 寛藏(84才) 嘉瀬

## 町民課より

お詫びと訂正

金木だより二月月号「戸籍の窓・十二月届出分おくやみ欄」において今定雄氏死亡のところ今ヨナ氏と誤って掲載いたしました。ここに訂正しお詫びいたします。

たします。

(白川 芳房(好年) 沢部  
(カストロベサ(ベサ) フイリ  
峰崎 一良(正八) 栃木県  
齊藤百合子(定一) 時田  
植田 正實(茂) 岩手県  
伊藤 明子(忠光) 喜良市  
今 正光(康次) 喜良市  
(松野かつ多(勝美) 五所川原市  
今 道人(重雄) 喜良市  
秋谷 礼子(誠) 金木  
太田久範(源之丞) 五所川原市  
中谷 昭子(昭四郎) 川倉  
(岡田喜八郎(喜十郎) 時田  
渋谷 育子(一義) 木造町